

「クリスマスの本当の意味とは」

クリスマス会で黄組の子どもたちはイエスの降誕劇を演じます。今月はこのイエスの降誕、クリスマスの本当の意味を皆様にお伝えしようと思います。イエスの誕生の時、イスラエルを支配していたローマ皇帝アウグスティスは徴税と徴兵のために属国の民に住民登録を課しました。この住民登録は現在住む場所ではなく、生まれ故郷に帰って登録しなければなりません。この登録は支配国ローマの徴税・徴兵のためのものであり、属国であるイスラエルの人々にとっては、納得のできるものではなかったのです。イエスはこの暗い思いでローマに従わなければならなかった人々の中で誕生しました。（住民登録の為に多くの人が旅をしていましたから、実際には宿屋にあぶれ、家畜小屋で一晩を過ごしたのはマリアとヨセフだけではなかったと思います。）また救い主イエスは暖かい綺麗な部屋で生まれたのではなく、冷たい隙間風が吹き込む、動物の匂いがただよう家畜小屋で生まれたのです。

最初に救い主イエスの誕生を伝えられたのは、当時の王や富裕層ではありませんでした。羊飼いや占星術の学者たちだったのです。羊飼いとユダヤ社会ではアムハーレツ（地の民）と呼ばれた人々です。当時、最も過酷な仕事をしていた彼らは、日々羊の世話に追われ、安息日の礼拝が守れないという事で、人々から罪人だと考えられ、差別された人々でした。また占星術の博士とは異教の神様を信じる外国人を表します。彼らもまたユダヤ社会において忌み嫌われた人々です。

イエスはこの世の最底辺に生まれました。支配国の命令に渋々従わなければならない暗く貧しい人々の間で、また寒く臭い家畜小屋の中でイエスは生まれました。最初に祝いに来たのはユダヤ社会で最も差別される羊飼いと、嫌われる異教の博士たちでした。クリスマスの本当の意味とは、この世において、小さくされた人々に、神の救い、愛、光（イエス）が与えられた事を表します。

イエスが誕生して2000年以上が経過した現在、イエスの時代に比べれば人間一人一人は大切にされるようになっていきます。しかし、悲しい事に現在においても、差別や迫害、争いが存在します。差別され、虐げられ、十分な食料を得る事のできない子どもたちがたくさんいます。クリスマスのこの時、この世界が更に一人一人の命を大切にできる社会になるように祈る、行動する時であるのです。

園長 葛井義顕